

緊急腹腔鏡下胆嚢摘出手術を施行した 高齢者胆嚢捻転症の1例

なが み はる ひこ き だに あき ひこ かわ ばた やす なり
長 見 晴 彦¹⁾ 木 谷 昭 彦²⁾ 川 畑 康 成²⁾
や の せい じ た じま よし つぐ
矢 野 誠 司²⁾ 田 島 義 証²⁾

キーワード：高齢者急性腹症，胆嚢捻転症

要 旨

症例は80歳女性で右季肋部痛を主訴に来院した。心窩部に圧痛を認め、白血球数増加，CRP 高値であった。上腹部エコーにより著明な胆嚢腫大と胆嚢結石を認めた。腹部 CT 検査では胆嚢頸部に約 2 cm 大の胆石，胆嚢壁腫大，胆嚢内の胆汁緊満，DIC-CT では胆嚢内への造影剤流入は認めなかった。以上より急性胆嚢炎の術前診断のもとに，入院当日に腹腔鏡下手術を施行した。腹腔内の所見は胆嚢は暗赤色調，著明に腫大し，血性腹水を伴い頸部で時計回りに約360度捻転していた。胆嚢捻転整復後に胆嚢摘出術を施行した。病理組織検査では胆嚢壁は全層性に出血性壊死を呈していた。術後経過は良好で術後 6 日目に退院した。胆嚢捻転症の術前診断は比較的困難であるが，確定診断から治療まで連続的に行える腹腔鏡下手術は大変有用と考えられた。また胆嚢捻転症は周囲との癒着も少なく，腹腔鏡下胆嚢摘出術の良い適応と考えられた。

はじめに

胆嚢捻転症は稀な急性腹症であり，従来は術前診断が困難とされ，急性胆嚢炎の術前診断の下に開腹下胆嚢摘出術施行される事が多かった¹⁾。今回，腹腔鏡下手術により胆嚢捻転症と確定診断できた 1 症例を経験したので，若干の文献的考察を加えて報告する。

症 例

患者：80歳，女性
主訴：右季肋部痛
家族歴・既往歴：高血圧症，骨粗鬆症
現病歴：2014年 9 月27日突然に右季肋部痛が出現し当院を受診し腹部エコーにて急性胆嚢炎，限局性腹膜炎と診断し緊急手術目的に大学病院へ紹介した。
入院時現在：血圧 134/86 mmHg，体温37.5℃，身長 156 cm，体重 48 kg。腹部は平坦，軟で，

Haruhiko NAGAMI et al.

1) 長見クリニック 2) 島根大学医学部消化器総合外科
連絡先：〒699-1311 雲南市木次町里方633-1



図1 当院来院時の上腹部エコー
緊満した液状内容物で充満した胆嚢と胆石(↑)を認める。

右季肋部に著明な圧痛と腹膜刺激症状を認めた。血液検査成績：白血球数 $14,500/\text{mm}^3$ ，CRP 9.08 mg/dl と著明な炎症所見を認め，肝機能は T-Bil 1.2 mg/dl ，AST 26 IU/l ，ALT 13 IU/l ， $\gamma \text{ GT P } 16 \text{ IU/l}$ と正常範囲内であった。

腹部単純X線検査：小腸ガス像や free air はなく，異常ガス像も認めなかった。

腹部超音波検査：胆嚢は著明に腫大し，壁は全周性に肥厚し，胆嚢内に約 2 cm 大の 1 個の結石を認めた (図 1)。

腹部造影 CT 検査：胆嚢は腫大し，壁は全周性に肥厚し，造影効果は認めなかった (図 2)。

DIC-CT 検査：胆嚢は造影されなかったが腫大しており，総胆管内には陰影欠損像は認めなかった (図 3)。以上の検査所見から急性胆嚢炎と術前診断し，入院当日に腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した。

手術所見：腹腔内を観察したところ，肝表面に血性腹水を認め肝門部に大綱が癒着していた。また胆嚢は暗赤色調であり鬱血壊死状に緊満していた。胆嚢内容物を吸引後に観察すると，胆嚢床付着範

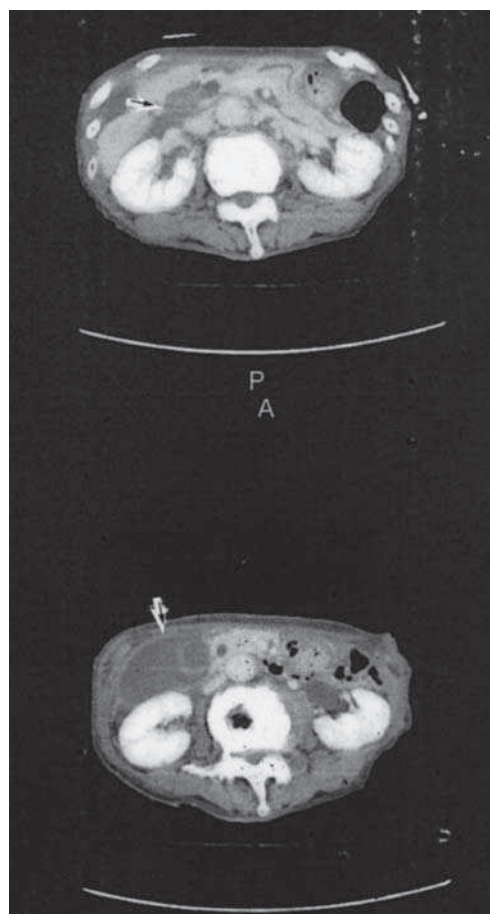


図2 術前造影 CT 像
胆嚢は腫大し，壁は全周性に肥厚し，造影効果は認めなかった。

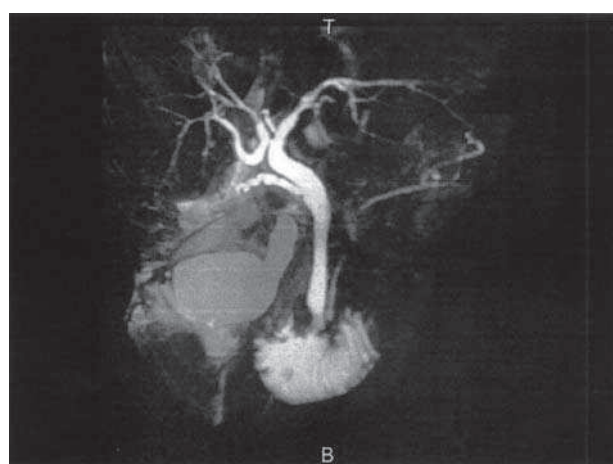


図3 術前 DIC-CT 像
胆嚢は造影されなかったが腫大を認め，総胆管内に陰影欠損像は認めなかった。

囲は狭く、胆嚢頸部で時計回りに約360度捻転していた(図4)。胆嚢捻転整復後に、胆嚢管、胆嚢動静脈をクリップにて結紮切離後に胆嚢を胆嚢床から剥離し摘出した。最後に汚染腹水を吸引、腹腔内洗浄後にドレーンは留置せず閉創した。

摘出標本：胆嚢は8×6cm大と腫大し、内腔は暗赤色調を呈し壊死に陥っていた。また胆嚢内に結石1個を認めた(図5：上段)。

病理組織所見：胆嚢壁には全層にわたり出血性壊死と炎症性細胞の浸潤を認め、捻転による循環障害と思われた(図5：下段)。

術後経過：術後経過は良好で、手術翌日から経口摂取を始め、術後6日目に退院した。

考 察

胆嚢捻転症は稀な疾患で、本邦では1932年の横山の報告²⁾以来、自験例も含め約400例が報告されているに過ぎない³⁻⁵⁾。文献的検討による臨床的特徴は約8割が60歳以上であり、特に高齢の痩せ女性に好発する。発症原因としては、先天的要因である遊離胆嚢が主であるが、老人性亀背、脊柱側彎、るい瘦、内臓下垂、外傷に伴う物理的要因などの後天的要因なども発症機序の一因とされている。自験例は高齢の女性であり、老人性亀背を認めたが、胆嚢床付着範囲が狭く、遊離胆嚢型を呈していたため双方が原因となり捻転したものと推測された。

本疾患の臨床症状は悪心・嘔吐を伴う急激な心窩部痛や発熱であり、特異的症狀はない。また血液検査では、白血球数やCRPが高値となる。さらに超音波検査やCT検査などの画像検査では、胆嚢腫大、全周性壁肥厚、胆嚢周囲液体貯留などの急性胆嚢炎の所見を呈する事が多い。なお最近の画像診断の進歩により、胆嚢捻転症は胆嚢の正

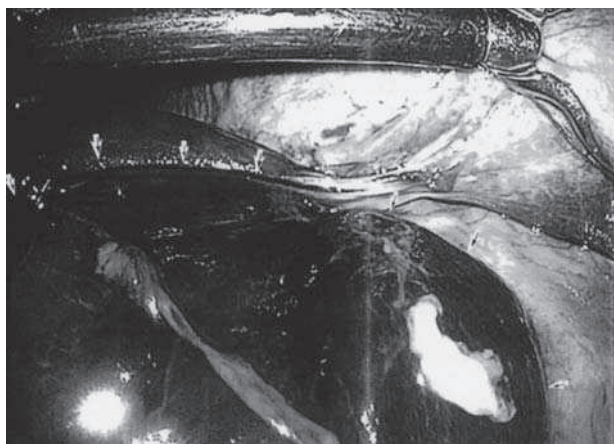


図4 術中所見

胆嚢は暗赤色調に鬱血壊死状に緊満し胆嚢頸部で時計回りに約360度捻転していた(↑)。

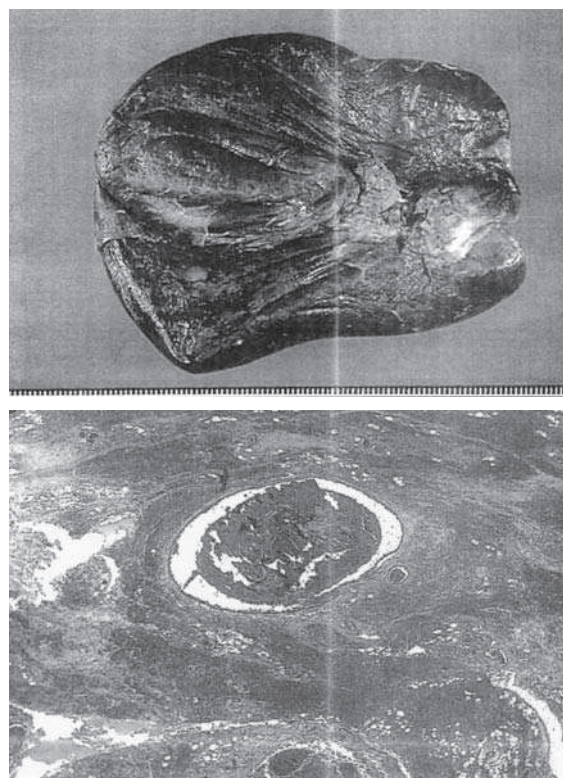


図5 切除標本

上図：摘出した胆嚢は8×6cm大と腫大し、内腔は暗赤色調を呈し壊死に陥っていた。

下図：切除標本病理組織像では胆嚢壁は全層性に出血性壊死と炎症性細胞の浸潤を認め、捻転による循環障害を認めた。

中偏位などの遊離胆嚢像を呈し、カラードプラー超音波検査では血流途絶が、造影CT検査では胆嚢壁の造影不良胆嚢頸部での渦巻き像が、さらにはDIC-CT検査やMRCP検査では胆嚢管の先細りや閉塞などが特異的とされ⁷⁾、術前の診断可能例が増加しつつある。

自験例では急性胆嚢炎とは術前診断できたが、胆嚢捻転症までの診断には至らなかった。しかし、造影CT検査を詳細に再検討すると、胆嚢壁は全周性に肥厚し、造影効果を認めなかった点、DIC-CT検査にて胆嚢が造影されなかった点を考慮すれば胆嚢捻転を術前に強く疑う事も可能であった。

急性胆管炎・胆嚢炎の診療ガイドライン⁸⁾によれば胆嚢捻転症は重症急性胆嚢炎に分類され、その治療はまず緊急胆嚢摘出手術を施行すべきとされている。なお胆嚢捻転症例は高齢者に多く、急性腹症として発症するため、確定診断ができずに経皮経肝的胆嚢ドレナージが行われることもあるが、遊離胆嚢のためドレナージが困難であり、胆

汁性腹膜炎併発例もあり、慎重に対応する必要があると考えられる。

腹腔鏡下胆嚢摘出術は胆嚢結石例に対する標準術式としてすでに定着している。一方、急性胆嚢炎例では炎症による癒着や出血などのために手術手技が煩雑で困難であり、いまだ開腹手術が行われることも時にある。しかし、胆嚢捻転症では他の急性胆嚢炎とは異なり、大網や周囲臓器との癒着は強固ではなく、胆嚢自体が肝臓から遊離しているため胆嚢床からの剥離はほとんど不要であり、手術操作比較的容易である。自験例では著明な胆嚢腫大で術野確保に難渋したが、癒着剥離と胆嚢内容物吸引により術野確保可能であり、以後の胆嚢摘出操作は容易であった。

以上より高齢者急性胆嚢炎の発症機序として本疾患も念頭におく必要性があり、また胆嚢捻転症例に対する腹腔鏡下手術は、確定診断から治療まで連続して行える最適な手術術式であると考えられた。

文 献

- 1) Shaikh AA, Chartes A, Domingo, et al: Gallbladder volvulus: report of two original cases and review of the literature. *Am Surg* 71: 87-89, 2005.
- 2) 横山成治: 捻転症(嚢丸, 盲腸, 胆嚢)三題. *日外会誌* 33: 719, 1932
- 3) 木嶋俊範, 原田洋明, 森崎哲朗, 他. 術前に診断し腹腔鏡下摘出術を施行した小児胆嚢捻転症の1例. *臨床外科* 65: 285-289, 2010.
- 4) 白根 悟, 中川国利, 村上泰介: 腹腔鏡下で胆嚢摘出術を施行した胆嚢捻転症の1例. *日外科連会誌* 31: 732-735, 2006.
- 5) 高館達之, 中川国利, 橋本知実, 他. 腹腔鏡下で胆嚢摘出術を施行した胆嚢捻転症の1例. *仙台赤十字病医誌* 22: 67-70, 2013.
- 6) 及川芳徳, 坂東道哉, 村田裕二郎, 他. 胆嚢捻転の臨床的検討. *日腹部救急医会誌* 32: 1013-1019, 2012.
- 7) Garcivilla PC, Alvarez JP, Uzqueda GV: Diagnosis and laparoscopic approach to gallbladder torsion and cholelithiasis. *JLSLS* 14: 147-151, 2010.
- 8) 急性胆道炎の診療ガイドライン作成出版委員会: 急性胆嚢炎. 高田忠敬. 急性胆嚢炎・胆嚢炎の診療ガイドライン. 103-158, 医学書院, 東京, 2005.